

2022年3月27日（日）メッセージアウトライン 「聖霊の深い愛」

聖書箇所：ヤコブの手紙4：1～5

タイトル：「聖霊の深い愛」

テーマ：2021年度は、私たちクリスチャンは個人的にイエス・キリストを信じる信仰によって永遠のいのちをいただき、その命の保証として聖霊の内住をいただき、私たちの体は聖霊の宮として、神のご栄光を現わすものとされていること、同時に教会全体がキリストを頭とする聖霊の宮であることを自覚し、キリスト者個人としても、教会全体としても成長できるようにという目標を掲げた一年でありました。今年度の最後のメッセージとして、ヤコブの手紙の本日の箇所より、三位一体の神である聖霊が私たちに抱いておられる深い愛を改めて受けとめ、新しい年度に向けて踏み出していきたいと考えています。

1. 初めに（今日のメッセージの前提として）創世記1章～3章

①聖書の神は唯一の神であると同時に三位一体の神（父・子・聖霊）

②聖書の神は愛なる神

*交わりと愛（三位一体の神の間の交わりと愛）

*人間同士も交わりと愛の中へ

*神の愛を踏みにじったアダムとエバ

③三位一体の神が差し伸べてくださった愛の手（救い）

人間の救いのために三位一体の神がしてくださったこと

2. 互いの間の戦いや争いはなぜ起こるのか？（ヤコブ4：1～3）

*人の心にある欲望

*欲求が満たされないと……

*求めても得られない原因

・願わない ・願って与えられないのは悪い動機で願うから

3. 節操のない者たち（4節）

①節操のない人たちとはどんな人？

*旧約の中では「貞操のない人たち」——真の神を知りながら、偶像に心移す人、それを旧約では靈的姦淫と表現している

*神とこの世の両方に仕えようとしている人たち（神を第一にしない人たち）

*配偶者がいるのに、伴侶を裏切っている人

②世の友となっている人たち

*神の敵となっている、神を裏切っている

- *世の友 (サタンに惑わされて、神のみこころより自分の目に好ましいものを選ぶ人)
- *神の敵 (神に対する反逆者)

4. 神がクリスチャンに与えてくださった御霊 (聖霊) とはどんなお方?

①内住の聖霊 (イエス・キリストを信じた者の心の内に住まわれるお方)

聖霊は、イエス様を信じる者を清くし、イエス様に似た者に造り変えてくださる。

②この世に再び心を奪われていく人はどんな人?

③聖霊の深い愛 (ヤコブ 4 : 5)

「神は、私たちの内に住ませた御霊を、ねたむほどに慕っておられる」(4 : 5)

*神が私たちの内に住ませられた御霊は、ねたむほどの愛をもって私たちを慕われる。(神は御霊を愛し、御霊が愛している人をも心から愛しておられるのだ。)

*人間のねたみは、自分をも他者をも傷つけ損なう。ねたみは罪である。神のねたみとは別物

*聖霊は私たちを深く愛しておられるので、聖霊にとって私たちが世の友となっていくなどとてもないこと。聖霊の妬むほどの愛はイエス様を信じる者を深く愛して、愛する者を守る愛、取り戻そうとする愛なのだ。ここで語られている「神のねたみ」は愛する者がこの世に心を奪われて、神から離れて滅びに向かおうとするのを良しとはなさらないということ。

5. 結論

①聖霊を悲しませることは父なる神と、子なる神イエス・キリストを悲しませること

②三位一体の神の交わりの中に招かれた私たち。

クリスチャンは三位一体の神の交わりの中に招き入れられた者です。

聖霊は私たちの内に宿り、キリストをかしらとする聖霊の共同体である教会をも心から愛して、この世に心奪われることなく、神に敵対することなく、私たちがひたすら神に信頼して歩むよう、今日も導いていて下さいます。

新たな年度も神によって愛され、召し出された者の共同体として、この世ではなく神の友として歩むことができますように。